

時の風に吹かれて I

佐々木幸子 & TAG (タグ)

ボーカル: 佐々木幸子

<http://s-tag.sakura.nc.jp>

1 春

限りのあるこの時間（とき）を また刻むように春がゆく
行き止まりこの道の その真ん中に花が舞う ウ～ウ
いくつも悲しみを僕は超えてきた いえ超えてなんかいないさ たたずみ見つめただけ
それでも春は平等にすべてに舞い落ちて 心おどる花の道 僕らに見せつける

標（しるべ）の無い人生を 自分を縛って生きてきた
弱さが故（ゆえ）の強がりだ 無意味なほどに着飾って ウ～ウ
泣きわめく強ささえ僕にはなくて ただ冷静をよそおって 過ごして来ただけさ
それでも春は平等にすべてに舞い落ちて 心おどる花の道 僕らに見せつける

ざらざらの傷口を 優しく覆う風が吹く
昨日までの冬の道 微塵も見せず花が舞う ウ～ウ
いくつも悲しみを僕は超えてきた いえ超えてなんかいないさ たたずみ見つめただけ
それでも春は平等にすべてに舞い落ちて 心おどる花の道 僕らに見せつける

2 時の風に吹かれて

君が求めたひたむきな生き方にも 僕が夢見ていた熱い生き方にも
友が託した燃える情熱さえ今 時の水平線に消されてしまいうささ

この空を見ていると まるで夢のようさ
熱い心はいつの日にか 遠い夢にかわっていくよ

夏は陽炎ゆれる道二人して 君とはしゃいだ秋の Pavement
冬の列車は行方隠しているの 幸せか不幸なのか判らないよ今は
永遠と言う言葉が まるで夢のようさ
熱い心はいつの日にか 時の風に吹かれているよ

この空を見ていると まるで夢のようさ
熱い心はいつの日にか 時の風に吹かれているよ

3 夏が走る街

風が吹いているよ 遠いお前に ガラス窓の向こうに 夏が走ってる街さ
コーヒーが苦くて君と 飲み残しのカップを前に しゃべり続けたね あの頃
街はうだるような暑さ 焼け付くアスファルトに君は いつも不平を言っていたね
見上げれば積乱雲 ビルの谷間を埋めて あの日と同じ様に 今日も流れてる
風が吹いているよ 遠いお前に ガラス窓の向こうに 夏が走ってる街さ

不思議な店さ music この店に来ると feeling あの頃の僕らの思い出
あのドアを開いて together 笑いながら二人が 昔の僕らと同じさ
僕だって甘い夢など 追いかけるはしないさ 去り行く愛なんて 戻ってこないのさ
甘い香り残して 君が去って行く 暑い夏の思い出と 痛みを残してる 胸に

風が吹いているよ 遠いお前に ガラス窓の向こうに 夏が走ってる街さ

4 慣性飛行

風の街をどこまでも このままで歩こう
あの頃と同じように 二人どこまでも
偶然に会ったのだから 少しぐらいいいよね
泣きはらしたあの日のこと 思い出してもいいよ

風の空をくぐる様に 渡り鳥の群れが
慣性飛行 風に巻かれて 自由を目指している
強く生きてみたいのさ 孤独に震えても
泣きはらした その目の中に 夕陽が沁みてもいいよ

5 人はなぜ

遠く遙かに見える赤い屋根の上 白い綿菓子のような雲が流れてる
風に流されても季節を作って 僕の心の中に何かを残してる
人はなぜ生きているの そんなふうに思ってしまう 春が流れて行く
人はなぜ悲しいこと 作りながら生きているの 風がささやいている

春の雨は優しくそっと降り始め 君が泣いてたことを隠してくれるよう
誰のほほの上にも同じ雨が降り 生きることの飾りをはがしてしまうのさ
人はなぜ生きているの そんなふうに思ってしまう 春が流れて行く
人はなぜ悲しいこと 作りながら生きているの 雨が教えている

時の風に吹かれて I

佐々木幸子 & TAG (タグ)

ボーカル ^{ささき さちこ} 佐々木幸子

1 春

詞 : 青山和美
曲 : 青山和美
編曲 : 田中信之

2 時の風に吹かれて

詞 : 青山和美
曲 : 後藤巧
編曲 : 後藤巧

3 夏が走る街

詞 : 青山和美
曲 : 青山和美
編曲 : 田中信之

4 慣性飛行

詞 : 青山和美
曲 : スコットランド民謡
(Loch Lomond)
編曲 : 田中信之

5 人はなぜ

詞 : 青山和美
曲 : フォスター
(My old Kentucky Home)
編曲 : 田中信之

※この楽曲を業として使用する際には、事務局
にお知らせください。

2009年10月

事務局 〒171-0031
東京都豊島区目白 3-1-28
立幸目白ビル 204 号
青山和美
office@s-tag.sakura.nc.jp

感想をお聞かせ下さい